

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成20年12月25日(2008.12.25)

【公開番号】特開2007-133039(P2007-133039A)

【公開日】平成19年5月31日(2007.5.31)

【年通号数】公開・登録公報2007-020

【出願番号】特願2005-324049(P2005-324049)

【国際特許分類】

G 03 G 15/00 (2006.01)

G 03 G 21/14 (2006.01)

【F I】

G 03 G 15/00 303

G 03 G 21/00 372

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月7日(2008.11.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像形成を行なう画像形成装置であって、

濃度補正用或いは位置調整用のパッチ画像を形成し、該パッチ画像を読み取ることにより画像形成条件を調整する画像調整の実行時期を予測する予測手段と、

前記予測された実行時期が、後続する画像形成ジョブの実行期間内であるときは、後続する画像形成ジョブで使用される転写材の搬送方向に直交する幅方向における転写材のサイズが所定サイズよりも大きく、且つ、先行する画像形成ジョブで使用される前記幅方向における転写材のサイズが前記所定サイズ以下であれば、前記先行する画像形成ジョブの実行期間内において画像形成と並行して画像調整を実行する調整手段とを含むことを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】

転写材に転写されるべきトナー画像が形成される像担持体を有し、

前記調整手段は、前記像担持体上で前記幅方向において前記トナー画像が形成される領域外に前記パッチ画像を形成することを特徴とする請求項1に記載の画像形成装置。

【請求項3】

画像形成装置における画像調整方法であって、

濃度補正用或いは位置調整用のパッチ画像を形成し、該パッチ画像を読み取ることにより画像形成条件を調整する画像調整の実行時期を予測するステップと、

前記予測された実行時期が、後続する画像形成ジョブの実行期間内であるときは、後続する画像形成ジョブで使用される転写材の搬送方向に直交する幅方向における転写材のサイズが所定サイズよりも大きく、且つ、先行する画像形成ジョブで使用される前記幅方向における転写材のサイズが前記所定サイズ以下であれば、前記先行する画像形成ジョブの実行期間内において画像形成と並行して画像調整を実行するステップとを含むことを特徴とする画像調整方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、例えば、画像形成装置や画像調整方法において好適に適用される。画像形成装置は、例えば、予測手段と調整手段とを含む。予測手段は、濃度補正用或いは位置調整用のパッチ画像を形成し、該パッチ画像を読み取ることにより画像形成条件を調整する画像調整の実行時期を予測する。調整手段は、予測された実行時期が、後続する画像形成ジョブの実行期間内であるときは、後続する画像形成ジョブで使用される転写材の搬送方向に直交する幅方向における転写材のサイズが所定サイズよりも大きく、且つ、先行する画像形成ジョブで使用される幅方向における転写材のサイズが所定サイズ以下であれば、先行する画像形成ジョブの実行期間内において画像形成と並行して画像調整を実行する。